



2005.12.8

第9回JPNICオープンポリシーミーティング

# 第20回APNICオープンポリシー ミーティング報告

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター  
奥谷泉



# APNIC20概要

- ミーティング名:  
20th APNIC Open Policy Meeting(APNIC20)
- 期間:  
2005年9月5日(月) ~ 9月9日(金)
- 会場:  
Melia Hanoi Hotel(ハノイ)
- ホスト:  
VNNIC 
- 参加者:  
約200名弱(日本からは15名)





## 今回のミーティングの特徴

- 提案事項5点、うち3点がコンセンサス
  - IPv6ポリシーの変更、NIRに対するIPv6割り振り手数料の変更について大きな議論
- NRO NC選挙
- ポリシーSIG Co-Chair選挙



# ミーティングプログラム

## Special Interest Groups(SIGs)

- DB, IPv6 tech, address policy, routing, IX, DNS ops, NIR

## APNIC総会

## Bird of Feathers(BOF)

- APOPS, NIRシステム, NIRトレーニング, NIRポリシープロセス, PGPキー署名

## トレーニング・チュートリアル

- IPv6ワークショップ, スпам/セキュリティチュートリアル

## 非公開のセッション

- HM Consultation Session, NIR Workshop, NIR technical



# セッションの様子



ガバナンスパネル  
in APNIC総会



プレナリー セッション



APNIC EC・SIGチェア  
ミーティング



# 提案事項一覧

## コンセンサスの得られた提案

- IPv6アドレスの追加割り振り利用率の変更
- APNICによるip6.intの逆引きゾーン対応停止
- IANAからRIRへのIPv6割り振りポリシー

## コンセンサスの得られなかった提案

- IPv6アドレスの割り当てサイズの新設
- NIRに対するIPv6割り振り手数料の課金廃止
- 独立したネットワークおよびナショナルピアリングに関する提案

# ミーティング結果に伴う影響

- ip6.intの廃止に伴い、今後ip6.intによる逆引き空間の検索は行えなくなる
  - ip6.arpaは引き続き利用可能
- IPv6アドレスの追加割り振り利用率は世界的なコンセンサスが得られたうえで適用
- IANAからRIRへのIPv6割り振りポリシーは実質的な影響なし



# 選挙

- **NRO NC選挙**
  - NRO NCは実質的には現ICANN ASO ACを担い、グローバルポリシー適用にあたり、ICANN理事に諮問を行う
  - 荒野高志氏の任期満了に伴う選挙
  - 現NRO NC Kenny Huang(TW)が当選
- **ポリシーSIG Co-Chairの選出**
  - Chair(議長)の進行を補佐する副議長
  - 現ポリシーSIGチェア Kenny Huang、Co-Chair 穂坂俊之に加え、もう1名Co-Chairを募集
  - Eugene Lee(CN)が選定



# まとめ

- **選挙**
  - NRO NC選挙はKenny Huangが当選
  - ポリシーSIG Co-ChairはEugene Lee
  
- **コンセンサスが得られた提案**
  1. IPv6アドレスの追加割り振り利用率の変更
  2. APNICによるip6.intの逆引きゾーン対応停止
  3. IANAからRIRへのIPv6割り振りポリシー



## 参考URL

- 20th APNIC Open Policy Meeting
  - <http://www.apnic.net/meetings/20/index.html>





# Q&A

